

社会福祉法人 大和まほろば会

令和4年度 事業報告

令和4年度は、社会福祉法人制度の改革の5年が経過したことにより、さらに経営組織、財務規律等の強化を図るために、引き続き社会福祉充実計画の推進を図るための準備計画を進めてまいりましたが、終息の見えないコロナ禍の影響や、利用者の減少や感染防止対策の取組、職員の確保等の課題も多く、収益の減少が続く中、効率の良い経営の推進、そして地域における公益的な取り組み及びユニットケアの充実を図るために、主として次の事業を展開しました。

- 1 . 経営組織の強化として、既に評議員会の機能の強化・拡大図っておりますが、財務規律の強化として収益の減少が続く中の計画的な再投資について準備を進めて参りました。
- 2 . 社会福祉法人における地域貢献活動の推進のために、社会生活上、支援を要する方への福祉サービス推進の検討も引き続き行ってまいりました。
また、奈良市の配食サービスの制度変更によって、事業を廃止又は縮小する社会福祉法人のこれまでの利用者をカバーするため体制等にも取り組みました。
- 3 . コロナ禍の影響のなかでも、“かがやきのその”の有する建物環境を生かした、感染対策を徹底し、在宅では味わえないデイサービス・ショートステイの事業に取り組みました。
- 4 . 高齢者施設において、ユニットケアという文化の定着をリードする施設を目指して、“かがやきのその”として、コロナ禍のなかでも、感染対策を徹底し、特色あるユニットケアの実行に取り組みました。
- 5 . あらゆる経費の使途、目的を洗い直して、必要性の高い緊急性のある事業に経費を重点的に配分すると共に省エネ運動に取り組みました。
- 6 . 事業の取組の中で、利用者、家族様から苦情・提言等いただいております、今後の

よりよい介護サービスの提供に活かしたいと考えております。

平成4年度に、法人、施設にいただいた苦情提言は、コロナ禍の影響で、サービス提供が少なくなったことや家族が入居者との面会等が昨年度と同様に出来なかったこともあり、全部で5件でしたが、

その内訳としましては

介護サービスに関するものが3件(デイサービス2件、特養1件)職員対応に関するもの1件(デイサービス)、その他のものとして1件(特養1件)となっております。

いただいた、苦情・提言については、今後の介護サービス・法人運営の向上に活かせるよう取り組みたいと思います。